

閉会中の調査報告

福祉教育常任委員会

開催日：平成27年7月1日（水）10：16～14：20

出席者：常任委員会（松原委員長、松井副委員長、松山委員、植中委員、栗津委員）及び望月議長

説明員：教育部長、教育総務課長、石部小学校長、石部小学校教頭、石部南小学校長、石部南小学校担当教諭

所管事務調査

①石部小学校改築工事の進捗状況について（現地踏査）

平成27年1月の起工式より建築工事が始まり、次の計画に沿って改築工事が進んでいる。

第1期（平成26年度）

- ・校舎棟柱状地盤改良

第2期（平成27年度）

- ・既存体育用具庫解体撤去
- ・校舎棟建設
- ・体育館棟建設
- ・自転車置場建設
- ・校舎棟、体育館棟周囲外構

第3期（平成28年度）

- ・既存校舎棟解体撤去
- ・既存体育館棟解体撤去
- ・既存校その他棟（屋外便所、倉庫棟）解体撤去
- ・既存プール棟、付属棟解体撤去
- ・プール棟建設
- ・グラウンド建設



進捗状況について現地で視察し、説明を受けた。現在は校舎棟をプレストレストコンクリート（PC）圧着工法で建築工事中である。この工法は、現地でコンクリートを流して柱を立てる必要がないので、工期の大幅な短縮が見込める。また、工場生産による均質な高強度コンクリートを使用した組立工法で、耐震性に優れた高靱性復元力が得られる等の特徴を持つとのこと。その他、周囲環境や校舎全体像についても、現校舎から新校舎建築現場を視察し、説明を受けた。

②石部南小学校：子どもたちの体力向上と健康の保持増進について（現地踏査）

■体力向上の取り組みについて

・目的

この取り組みは、開校当時から続けられている伝統的な学習活動「朝の運動（体操）」を通して、児童の体力づくりと体力の維持、向上を目指すこと、また、異学年が交流し、

遊びから広がる体力づくりの工夫をし、友だち関係を築き集団行動を活性化させることを目的としている。

・内容

週3日（年間60日程度）、朝、始業前の10分間運動でランニングを中核とし、マラソンカードを使うなどいろいろな工夫をし、子どもたちに伸びたいという意欲を持たせている。異学年で運動を行えるたてわり活動を取り入れ、集団行動や集団規律を大切にしているとのこと。

・工夫

運動意欲を起こさせるための指導の工夫として、子どもの実態を把握し、実態に合った単元構成を考えている。運動の特性にも触れ、楽しく運動に親しめるよう場づくりや声かけの支援をしている。教材・教具の工夫など体育科学習指導の充実も図っているとのこと。

・保護者への啓発

新体力テストの結果などから、本校児童の体力の現状や朝の運動での取り組みを紹介し、同時に家庭での体力づくりなど親子で体力に関心を持ってもらえるよう啓発している。

以上の取り組みにより、①運動の日常化、②運動に親しむ子どもの育成、を期待するものであるとの説明を受けた。委員からは、毎日取り組むことはできないか、投力と柔軟性が低い原因は何か、競争心が芽生えたかなどの質問が出た。学校側からは、他の取り組みもあるので毎日は難しい、体を使うことや投げる遊びが減っていることが投力や柔軟性に影響しているのではないかと説明があった。競争心が芽生えたかは分からないが、子どもたちからは楽しいという声は出てきていると説明があった。

■給食試食について

本年4月から稼働した新給食センターで調理した給食を、1～4年生の各クラスに委員1名ずつが入り、試食を行った。配膳や食べ方、食器の片づけ、ごみ処理の仕方、給食時間の過ごし方など子どもたちと交流しながら視察を行った。

給食試食後に、今後の児童減による学校の課題対応について、学校側と懇談を行った。

